

# 統計調査ニュース

平成27年（2015）11月

No.348



## 国勢調査 ～ 実査から審査へ ～

総務省統計局統計調査部長 千野 雅人

平成 27 年国勢調査は、オンライン調査の全国展開・先行実施という、初めての手法により実施されました。この新しい国勢調査を順調に行うことができたのは、国勢調査に携わっていただいた約 70 万人の調査員・指導員の方々や都道府県・市区町村の職員の皆様のお陰です。心より御礼申し上げます。

一方、大雨や火山噴火などの自然災害に見舞われ、調査期間中も避難生活を余儀なくされるなど、困難な状況にいらっしゃった方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

現在、各市区町村において、世帯や調査員から提出された調査書類の審査を行っている段階かと思えます。これら審査中の調査書類は、今後、(独)統計センターに提出された後、国において最終的

な審査を行い、順次、集計・公表を行います。その第一弾として、来年 2 月には、市区町村別男女別の人口及び世帯数の「速報値」を公表する予定です。

今回の国勢調査では、パソコンやスマートフォンからオンライン回答していただいた世帯の数は、1900 万を超えました。これは、事前の想定を大きく上回るものです。回答時に未記入や誤記入を自動的にチェックするオンライン回答がこのように多数に上ったことにより、地方自治体の審査業務が効率化し、集計結果の「不詳」が減少することにつながるものと期待しています。

さらに、(独)統計センターでは、オンライン回答のメリットを生かしつつ集計事務を大きく効率化し、集計期間を全体で 10 か月短縮します。これにより、これま

でよりも更に早く、調査結果を御利用いただけるようになります。

また、世帯が紙の調査票を提出する際には、それを封入するかどうかは任意としました。これにより、記入の仕方に不安を感じる世帯に対し、調査員が記入の支援や確認をすることができるようになりました。これも、調査票の記入不備の減少に寄与するものと考えています。

国勢調査の結果精度を高めるための様々な取組は、各府省、地方自治体、そして国民の皆様により良い調査結果を還元し、最大限に御活用いただくために、とても重要です。皆様には、引き続き、審査の完了と結果精度の向上に向けて、御尽力をお願いしたいと思います。

### 目次

国勢調査 ～ 実査から審査へ ～	1	統計データ・グラフフェアの開催について	8
平成 27 年国勢調査の広報活動報告	2	「平成 27 年秋の叙勲」 ／カンボジア王国が統計局関係者に勲章を授与	9
平成 28 年経済センサス - 活動調査の実施に向けて(その 7) - 広報計画について -	4	あなたの答えが、未来への答えになる。～ 経常調査の広報 ～	10
平成 26 年全国消費実態調査 単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果の概要	5	11 月 17 日再開講！「社会人のためのデータサイエンス入門」 ／平成 27 年度統計研修受講記	11
第 63 回統計グラフ全国コンクール入選作品決定	6		

# 平成 27 年国勢調査の広報活動報告

本年 10 月 1 日を期して、平成 27 年国勢調査を実施しました。今回は、都道府県が行った国勢調査の様々な広報活動の一部を、写真などで紹介します。

## =リーフレット=

…地元の著名人を起用したり、自県の人口予想クイズを用いて、地域の特性を生かしたリーフレットを作成



△広島県



△宮崎県



△鳥取県

## =交通広告=

…国勢調査のイメージキャラクター「センサスくん」及び「みらいちゃん」を起用し、バスや電車等のラッピングを実施



△東京都：都営バス（上）、  
新宿区コミュニティバス（下）



△滋賀県：京阪電車

## =横断幕=



△愛知県名古屋市：市内のスポーツチームが加盟している団体「でらスポ名古屋」及び市立工芸高校有志の方々の協力のもとに作成した横断幕（名古屋駅）

＝ポスター＝



△大阪府：大阪を本拠地として活躍するサッカーチーム（ガンバ大阪，セレッソ大阪）の協力を得て，作成



△京都府：京都伏見を舞台とした人気アニメ「いなり、こんこん、恋いろは。」を採用して，作成

＝屋外ビジョン＝



△兵庫県：プロ野球等で盛り上がる阪神甲子園球場にてCM放映



△大分県：大分駅前正面の特大ビジョンにてCM放映

＝イベント＝



△千葉県：幕張メッセにて行われた，県内外から多数の方が参加される「県民の日ちばワクワクフェスタ」にて，オンライン調査デモ回答体験を実施



△長野県：長野県庁見学イベントにて，来場者にクイズを出題し，楽しみながら国勢調査を広報

＝懸垂幕＝



△岡山県：岡山駅前にて実施期間等を周知する懸垂幕を掲出



# 平成28年経済センサス - 活動調査の実施に向けて (その7) -広報計画について-



経済センサス - 活動調査を正確かつ円滑に実施するためには、事業所・企業に対して調査名及び調査の実施について知っていただくとともに、事業所・企業からの理解と協力を得る必要があります。

総務省及び経済産業省では、平成27年度は「企業構造の事前確認」<sup>(注)</sup>及び本調査の実施について、各種団体等に対し協力依頼を行い、28年度では、効果的なメディアを活用して広く全国規模の周知を行うことを目的とした総合企画広報を実施するなどして、調査への理解の醸成に努めます。

(注)「企業構造の事前確認」とは、調査票の配布に先立ち、支社等の新設・廃止や事業内容を事前に確認いただき、支社等の事業内容に応じた調査票を配布することを目的として実施するものです。

## ○広報計画の重要ポイント

### ▶調査の認知度（率）の向上

・調査の認知度（率）を高めることで、より積極的に調査に回答してもらうように努めます。

### ▶インターネット（オンライン）回答の推奨

・インターネット（オンライン）回答の利便性及び情報保護への配慮をアピールすることで、インターネット（オンライン）回答を推奨するとともに、安心して調査に回答できることを周知します。

### ▶統計の必要性の理解の醸成

・国や地方公共団体のみならず、調査対象が営む事業など、身近なものに対して直結する必要不可欠な統計であるという理解を醸成します。

### ▶訴求対象に応じた効果的な協力依頼の実施

・直轄調査対象企業に対しては、広報活動のほか直接訪問して、より正確に回答してもらうように努めます。また、直接・間接に関連する各種団体等に協力依頼を行い、傘下団体を含めた調査実施の浸透を図ります。

## 主な広報・協力依頼活動（総務省及び経済産業省実施分）

### 企業構造の事前確認

### 本調査（調査票の配布・回収）

協  
力  
依  
頼

#### 【各種団体等への訪問・ダイレクトメールの送付】平成27年7月～28年3月

調査実施について理解を求めるとともに、各種団体等が発行する機関紙やHP等への記事の掲載を通じて、周知と回答の呼びかけを行うよう要請

#### 【新聞広告】平成27年9・10月

「企業構造の事前確認」の周知と確実な回答を得ることを目的に、主要全国紙（読売、朝日、日経）に広告を掲載

#### 【各府省を通じた協力要請】平成28年1月～3月

調査への協力を要請するとともに、各府省が所管する各種団体等に対して、調査協力を要請するよう依頼

#### 【調査実施に関する説明会】平成28年2月

直轄調査対象企業を対象に、調査の概要、回答方法等について理解を求めするための説明会を全国7か所で開催

広  
報

#### 【パブリシティ】平成27年6月～

「統計調査ニュース」、広報誌「総務省」など、各種既存広報媒体を活用した周知活動を展開

#### 【総合企画（メディアミックス）】平成27年12月～

周知用DVD、テレビ・ラジオCM、PR活動、インターネット広告、新聞等を通じた全国規模の周知活動を展開

# 経済センサス 活動調査

# 平成26年全国消費実態調査

## 単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果の概要

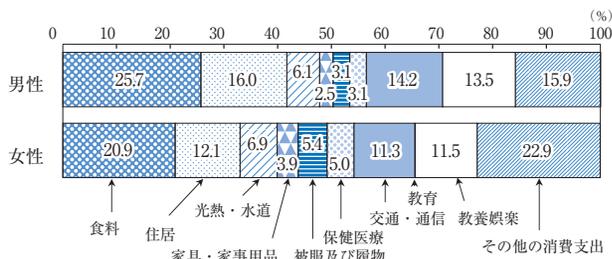
全国消費実態調査は、世帯の家計収支、資産などの家計の構造面を総合的に把握する調査として5年ごとに実施しており、平成26年調査は12回目に当たります。同調査のうち、単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果を平成27年9月30日に公表しましたので、その概要を紹介します。

### 【1世帯当たり1か月間の支出】

支出割合が最も高いのは、男性で「食料」、女性で「その他の消費支出」

消費支出（平成26年10月、11月の1か月平均）の内訳を男女、費目別にみると、男性は調理食品や外食などの「食料」、女性は諸雑費や交際費などの「その他の消費支出」への支出割合が最も高くなっています。（図1）

図1 男女、費目別消費支出の構成比（単身世帯）



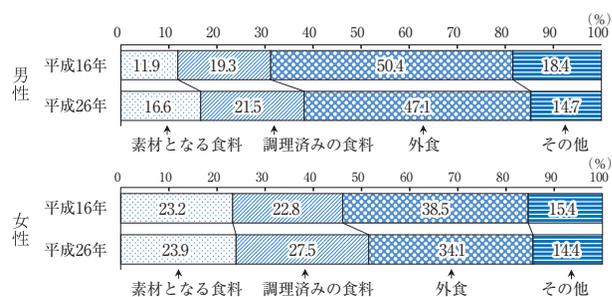
### 【食料への支出】

食料の内訳割合で最も高いのは男女とも「外食」

若年勤労単身世帯（勤労者世帯のうち40歳未満の単身世帯）について、食料に含まれる項目を4つに区分し、その割合を男女別にみると、男女共に「外食」が最も高くなっています。

10年前（平成16年調査）と比較すると、男女共に「素材となる食料」・「調理済みの食料」の割合が上昇し、「外食」・「その他」の割合が低下しています。調理済みの食品などを家で食べるという人が相対的に増えているようです。（図2）

図2 男女別「食料」の内訳の推移（若年勤労単身世帯）



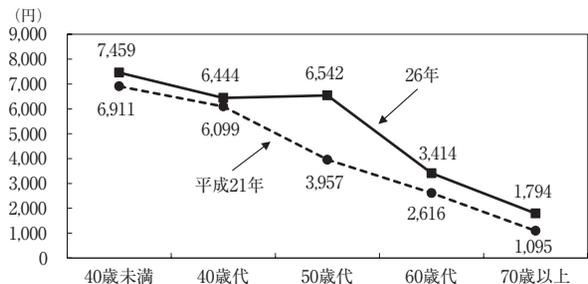
### 【携帯電話通信料への支出】

前回調査（平成21年）からの増加が大きいのは中高年層

携帯電話通信料について、年齢階級別に支出金額をみると、40歳未満が最も多く、70歳以上が最も少なくなっています。

前回調査（平成21年）と比較すると、50歳代以下でスマートフォン、60歳代以上で携帯電話の普及が進んだこともあり、全ての年齢階級で増加しています。特に50歳代、60歳代の中高年層の増加が大きくなっています。（図3）

図3 年齢階級別携帯電話通信料（単身世帯）

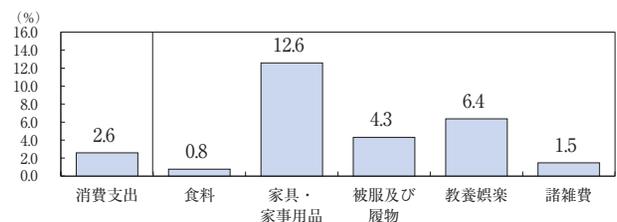


### 【通信販売（インターネット）を利用した購入状況】

通信販売（インターネット）を利用した購入割合が最も高いのは、家具・家事用品

通信販売（インターネット）を利用した購入について、費目別支出金額に占める割合をみると、炊事・洗濯などの家事に用いる耐久財や雑貨類が含まれる「家具・家事用品」が高くなっています。（図4）

図4 通信販売（インターネット）を利用した購入の主な費目別支出金額に占める割合（単身世帯）



### 【貯蓄の状況】

貯蓄現在高が最も多いのは男女とも60歳代

貯蓄現在高<sup>(注)</sup>について、男女、年齢階級別にみると、男女共に60歳代が最も多く、40歳未満が最も少なくなっています。また、男女共に60歳代までは年齢階級が高くなるに従って多くなる傾向が見られます。（図5）

(注) 貯蓄を保有していない世帯を含む平均

図5 男女、年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入（単身世帯）



◆「平成26年全国消費実態調査」の詳しい結果については、次のURLを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.htm>

# 第63回統計グラフ全国コンクール入選作品決定

総務大臣特別賞は、茨城県八千代町立東中学校3年  
篠原 菜々花さん、西村 翔太郎さんの作品

## 白菜の町『八千代』の助っ人は外国人

### 【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆様には、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されているもので、(公財)統計情報研究開発センターの主催、総務省、文部科学省等の関係機関の後援及び協賛により実施されているものです。

### 【審査経過】

第63回目を迎える本年度は、全6部門に、全国の小・中学生から一般の方々まで、計26,548作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ね

た第1次審査、総務省職員等による第2次審査を経た後、統計グラフ全国コンクール最終審査会(審査委員長：渡辺美智子慶應義塾大学大学院教授)が最終審査を行い、各部の特選作品及び入選作品を決定するとともに、特選6作品の中から、特に優秀な作品として、「総務大臣特別賞」、「文部科学大臣奨励賞」などの特別賞が決定されました。

### 【表彰式等】

「総務大臣特別賞」を始めとする各種受賞作品の表彰は、平成27年11月19日(木)、東京都渋谷区国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールで開催される「第65回全国統計大会」の席上で行われます。

## 平成27年度 総務大臣特別賞及び文部科学大臣奨励賞

### 【総務大臣特別賞】

#### 白菜の町『八千代』の助っ人は外国人

[パソコン統計グラフ(小学校の児童以上)の部特選作品から選出]

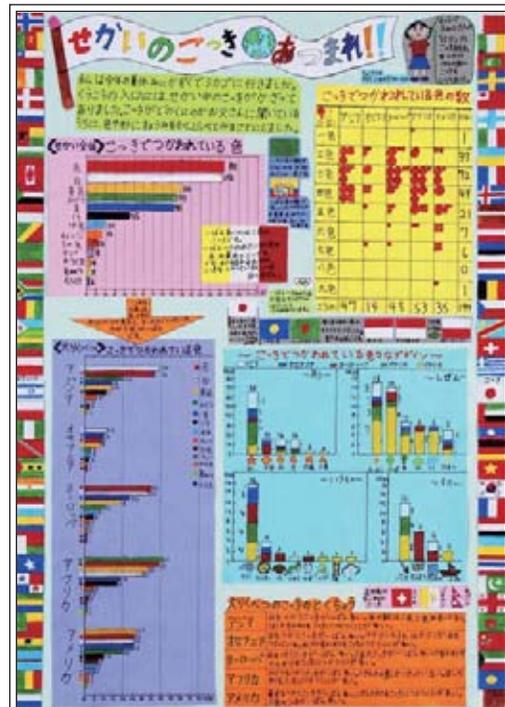


茨城県八千代町立東中学校3年  
篠原 菜々花(しのはら ななか)さん  
西村 翔太郎(にしむら しょうたろう)さん

### 【文部科学大臣奨励賞】

#### せかいのこっきあつまれ！！

[第1部(小学校1年生及び2年生の児童)特選作品から選出]



神奈川県慶應義塾横浜初等部2年  
浜田 夏光(はまだ なつみ)さん

## 特別賞及び特選作品

【日本統計学会会長賞】  
鉛筆を使っていますか？  
〔第 3 部特選作品〕



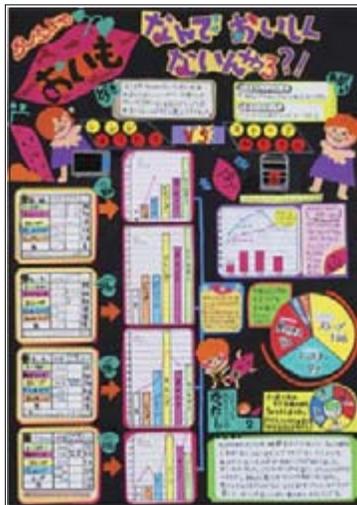
東京都晃華学園小学校 5 年  
井川 梨紗子 (いがわ りさこ) さん

【日本品質管理学会賞】  
中 1 からでも早すぎない高校選び  
〔第 4 部特選作品〕



栃木県宇都宮市立一条中学校 1 年  
坂本 翔汰 (さかもと しょうた) さん

【第 2 部特選作品】  
か〜ちゃんのおいも  
なんでおいしくないんやろ？！



京都府京都市立音羽小学校 3 年  
稲波 里紗 (いななみ りさ) さん

【第 5 部特選作品】  
私もあなたもPTAメンバー  
探れ！ 河小のPTA活動スタイル



茨城県  
鈴木 佳世 (すずき かよ) さん  
根岸 理加 (ねぎし りか) さん

### 【作品の展示】

これらの入選作品は、「統計の日」関連行事の一つとして、10月17日(土)・18日(日)に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した「統計データ・グラフフェア」において展示されました。

また、作品の表彰式を行う「第65回全国統計大会」(11月19日(木)、国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールにて開催)の会場においても展示されます。

なお、各都道府県の統計グラフコンクールにおける入選作品は、各都道府県の展示会にて展示される予定です。



統計データ・グラフフェアでの展示状況

# 統計データ・グラフフェアの開催について

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、「統計の日」（10月18日）の関連行事の一つとして、10月17日（土）・18日（日）、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、総務省、東京都及び（公財）統計情報研究開発センター共催により、「統計データ・グラフフェア」を開催しました。

以下、当フェアの様子について、紹介します。

## 統計グラフコンクール入選作品展示コーナー

統計グラフ全国コンクールの入選作品、東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県内の統計グラフコンクールにおける知事賞受賞などの入選作品を展示しているコーナーでは、難しいテーマから笑いを誘うような面白いテーマまで、様々な視点から作成された作品の数々に、来場者の方々も見入られていました。

また、17日（土）は、総務省の笹島誉行総務審議官が視察し、入選作品の観覧や入選者との記念撮影をしました。



統計グラフコンクール入選作品展示コーナーの様子

## 各府省の統計調査紹介コーナー

各府省の統計調査を紹介するコーナーでは、来場者の方々に国が実施する統計調査への関心と理解を深めていただくため、様々な統計調査について、調査の概要、統計調査結果、活用事例等を紹介しました。

## 「世界統計の日」関連コーナー

国際的に公的統計に対する理解を深めることを目的として、2015年6月3日の国連総会において決議された「2015年10月20日 世界統計の日」について紹介しました。



「世界統計の日」関連コーナーの様子

## 都道府県の企画展示コーナー

都道府県の企画展示コーナーでは、各都道府県の誇る統計データを利用したパネルを展示し、それに関連した配布用パンフレット等を並べました。多くの来場者が御自分の出身地のパネル等を興味津々の様子で御覧になっていました。



都道府県の企画展示コーナーの様子

前記のほか、今年度の「統計の日」標語の入選作品の紹介や、子供から大人まで身近に学べる統計の紹介など、あらゆる年代の方々に楽しんでいただけるようなコーナーを設け、開催しました。

総務省政策統括官室では、国民の皆様には統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の御協力を頂けるよう、これからも取り組んでまいります。

## 統計に関するニーズ・アンケート

「統計の日」に関連した公的統計の普及・啓発活動時期に併せて、統計に関するニーズについて、e-Stat（政府が作成・公表する統計データのポータルサイト）上でアンケートを行っています（12月16日（水）まで）。

統計調査ニュースをお読みになっている方はもちろん、それ以外の多くの方にもこのようなアンケートが実施されていることを知っていただき、アンケートに御協力いただきたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

(URL:<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/anktListView.do?method=init>)



# 「平成27年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、11月6日に東京プリンスホテルにおいて伝達式を執り行い、総務大臣から受章者に勲章が伝達されました。また、受章者は伝達式後、皇居において天皇陛下に拝謁しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の荣誉に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

## 【勲章受章者】

### ○瑞宝単光章

	※敬称略				
小笠原 笑子	(北海道)	谷田貝 和代	(栃木県)	福田 文幸	(長野県)
佐藤 恵子	(北海道)	井上 悦子	(群馬県)	園原 泰子	(岐阜県)
大西 征輝	(北海道)	中澤 利幸	(群馬県)	朝比奈 節子	(静岡県)
留田 愿	(北海道)	加藤 むら子	(埼玉県)	成田 正子	(愛知県)
加茂 一清	(北海道)	茂木 勝乃	(埼玉県)	江口 雅子	(愛知県)
田中 茂治	(北海道)	山口 せつ子	(埼玉県)	鈴木 好子	(愛知県)
加賀谷 輝衛	(青森県)	鈴木 英雄	(千葉県)	西 百合子	(愛知県)
高田 和枝	(青森県)	石橋 陽央	(千葉県)	服部 喜代子	(愛知県)
西條 善八	(岩手県)	宮本 京子	(東京都)	林 泰子	(三重県)
生内 ノブ	(岩手県)	小川 力洋	(東京都)	渡部 庄行	(三重県)
根井 正一	(岩手県)	中島 清子	(東京都)	武立 悦子	(滋賀県)
森 タエ子	(宮城県)	石原 まさ子	(東京都)	松田 縁	(大阪府)
千葉 信子	(宮城県)	小池 紀枝	(東京都)	渡邊 孝子	(大阪府)
三戸部 昱夫	(宮城県)	小美野 イト子	(東京都)	吉富 多賀子	(大阪府)
水口 五助	(秋田県)	有馬 節子	(神奈川県)	伊藤 律子	(兵庫県)
藤原 恵太郎	(秋田県)	川村 せつ子	(神奈川県)	三好 恭子	(奈良県)
橋本 信一	(山形県)	太田 武子	(神奈川県)	坪倉 司	(鳥取県)
鈴木 孝則	(福島県)	高橋 和	(新潟県)	西村 弘子	(岡山県)
利根川 猛	(茨城県)	鈴木 典子	(新潟県)	小倉 豊久	(岡山県)
武藤 齊	(茨城県)	富樫 恵子	(富山県)	森本 範雄	(広島県)
東 みち子	(茨城県)	野島 康弘	(石川県)		
桑野 郭延	(茨城県)	團田 絢子	(福井県)		

## カンボジア王国が統計局関係者に勲章を授与

平成 27 年 9 月 11 日 (金)、須江雅彦総務省大臣官房統計情報戦略推進官 (元統計局長) 及び戸谷好秀前独立行政法人統計センター理事長が、独立行政法人国際協力機構 (JICA) による国際協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画」を通じてカンボジアへの発展に貢献したとして、カンボジア王国から勲章を授与されました。授与された勲章は、サハメトレイ王国勲章の 3 等位の勲章です。

カンボジア統計局への支援は、国際協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画」を通じて、2005 年 8 月から 2015 年 9 月までの約 10 年間実施されました。本プロジェクトは官民合同型のプロジェクトであり、統計局及び統計センターのほか、統計研修所、公益財団法人統計情報研究開発センター等が一体となって推進し、2008 年人口センサス、2009 年全国事業所リスティング、2011 年経済センサス、2013 年中間年人口調査、2014 年経済統計調査等に対する技術協力を行ってきました。

今回の勲章の授与は、2013 年中間年人口調査及び 2014 年経済統計調査に対する多大な貢献が認められたものです。

また、今回は統計局と共に上記プロジェクトに民間専門家として参画した山内晶仁統計情報研究開発センター研究開発第三部長兼国際協力部長 (元統計センター情報技術部長) にも同位の勲章が授与されました。

(参考) 国際協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画」の詳細な活動内容は、統計局ホームページの下記ページに掲載しています。

<http://www.stat.go.jp/info/meetings/index4.htm>



戸谷好秀  
前統計センター理事長



須江雅彦大臣官房統計情報  
戦略推進官 (元統計局長)

# あなたの答えが、未来への答えになる。

## ～ 経 常 調 査 の 広 報 ～

- 総務省統計局では、毎月又は四半期ごとに行っている経常調査のうち労働力調査、家計調査、小売物価統計調査及び個人企業経済調査の広報を実施しています。
- 調査の概要、趣旨、しくみ等を国民へ広く周知し、調査に対する理解を得るために様々な媒体を通じた広報を行います。

### 【経常調査の広報実施計画（11月）】

区 分	内 容 等	備 考
新聞広告	全国紙：読売新聞 11月1日（日）、11月15日（日） 朝日新聞 11月8日（日）、11月23日（月）	*版下を都道府県に提供
インターネット広告 (パソコン版& スマートフォン版)	掲載期間：11月1日（日）～30日（月）	
	Yahoo! JAPAN	バナー広告
	Facebook	Marketplace広告LinkAd
	YouTube	インディスプレイ広告
動画広告	YouTube統計局チャンネル、統計局ホームページに掲載 調査の概要について紹介（60秒程度、15秒程度）	*動画を都道府県に提供
テレビCM	放映期間：11月、30秒CM提供 ①テレビ大阪『夢織人』土曜12:30～13:00 ②BSジャパン『夢織人』木曜23:00～23:30 ③BSジャパン『NIKKEIプラス1をみてみよう！』土曜9:00～10:00	
コンビニATM (大都市圏)	掲載期間：11月1日（日）～30日（月） イーネットデジタルサイネージ（動画15秒）	
新聞・雑誌	パブリシティ記事を『JAL機内誌11月号』など11誌に掲載	

あなたの答えが、  
未来への答えになる。

統計  
調査



統計調査員の「ちよウサ」ちゃん  
統計調査員がお伺いします。ご回答をお願いします。

日本の雇用、  
どうなっているのかな？

それ **労働力調査** で見えてくる  
労働力調査は毎月実施。  
完全失業率などがわかります。

1か月に消費する金額は、  
どれくらいなのかしら？

それ **家計調査** で見えてくる  
家計調査は毎月実施。  
家計収支の実態がわかります。

物価の上がり下がり、  
気になるわ

それ **小売物価統計調査** で見えてくる  
小売物価統計調査は毎月実施。  
消費者物価指数などがわかります。

日本の個人企業、  
今どれくらい元気なの？

それ **個人企業経済調査** で見えてくる  
個人企業経済調査は四半期ごとに実施。  
個人企業の経営の実態がわかります。

総務省統計局・都道府県 <http://www.stat.go.jp/>

詳しくは、統計局ホームページ<http://www.stat.go.jp/info/kouhou/keijyou.htm>を御覧ください。

# 11月17日再開講! 「社会人のためのデータサイエンス入門」

日本政府で初めて提供した MOOC (ムーク) 講座「社会人のためのデータサイエンス入門」は、平成 27 年 3 月 17 日 (火) に開講し、15,000 名を超える方に受講いただきました。

皆様の御好評に応え、平成 27 年 11 月 17 日 (火) に再開講いたします。

この講座は、入門者に合わせたカリキュラムとなっており、初心者でも無理なく受講できます。また、動画での講義ですので、活字だけでは分かりづらかった情報も頭の中にスッと入り理解が進みます。

講義は、インターネット上で受講しやすいように、1 本当たり 10 分程度にまとまっており、パソコンだけでなく、スマートフォンでも手軽に学習でき、いつでもどこでも学習できることが大きな特徴となっています。

どなたでも無料で受講できますので、秋の夜長を“学びの秋”にしてみませんか。

ただいま、受講者を募集しています。是非御参加ください。

データサイエンス・オンライン講座ページ  
<http://gacco.org/stat-japan/>

データサイエンス MOOC 検索



## 【授業計画】

- 第 1 週：統計データの活用  
 コースへの導入、分析事例から分析に用いる統計的な考え方、データの見方への導入を図る
- 第 2 週：統計学の基礎  
 データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ
- 第 3 週：データの見方  
 データの見方について基本的な方法を学ぶ
- 第 4 週：公的データの入手とコースのまとめ  
 誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う



## 平成27年度統計研修受講記

### 統計基本課程「社会・人口統計の基本」を受講して

糸島市企画部企画秘書課 大久保 二葉

私は、現在の部署で基幹統計調査及び統計書公表に関わる業務を担当しています。

所属する企画調整係では、ほかに総合計画や地方版総合戦略、実施計画、分野別計画の調整等を所管しており、統計業務がこの中に位置しているのは、各計画や事業の計画、実施、評価及び見直しのそれぞれの段階での基礎資料として、また、各方面への公平な説得材料として活用するためです。

基幹統計調査で市町村を経由する調査は、年によって重複することもあり(平成 26 年度は 6 調査)、統計担当としては、統計調査業務のみで負担が非常に大きいと感じます。

しかし、統計が企画部門に位置する本来の意味を考えたとき、統計調査業務だけではなく、公表されている統計データを基に、分析し、活用していく手法を身につけ、特に各種事業計画の成果指標設定や、市民満足度調査を始めとする社会調査の分析にいかしていければという思いで今回の研修に参加しました。

今回の中心となった講義は、「社会分析」です。主に社会調査 (SSM: 社会階層と社会移動全国調査) を例に、社会階層ごとの年次、性別、親の職業、教育への出資金額、進学結果の関連性から導き出される教育機会の不平等について、分析ソフト R を用いて分析手法を学びました。

また、分析の前に、調査設定に当たってはリサーチク

エスチョン (RQ) の設定が最も重要であること (例えば、高学歴化とともに教育機会の不平等はどのように変化してきたのか、平等化したのか、不平等化したのか、それとも変化していないのか)、つまり、どう分析するかを先に考えて調査を設計する必要があるということについて、当たり前のことですが、改めてなるほどと思いました。

基幹統計調査だけでなく、大学機関等の実施する社会調査についても、調査規模 (対象者・地域・時期)、回収率、信頼度など、調査概要を把握した上で活用することも重要であると感じました。

そのほか、「地域人口統計」、「将来人口推計」、「地域経済分析システム (RESAS) について」、「ジェンダー統計」の講義を受け、普段取り扱っている統計データがいかに活用され、また私たち自治体職員の活用を待っているかを再認識することができました。

特に、「社会分析」で習得したデータ分析について、今後、各分野の市民アンケートなどの独自調査設定時のアドバイスやその集約、調査結果の分析と公表についての取組が可能ではないかと考えています。

最後に、熱意と誠意を持って御教授くださった先生方、快適な研修環境を整えてくださった事務局職員の方々に心より厚く御礼申し上げます。

とても実りある研修であったと思いますので、興味のある自治体職員の皆様にも、受講をお勧めします。

# 最近の数字

		人口		労働・賃金		産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数	
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国 H22=100	東京都区部 H22=100
実数	H27. 5	126,904	6400	3.3	300,799	97.2	27.6	286,433	327,875	104.0	102.6
	6	P12689	6425	3.4	516,839	98.3	P28.8	268,652	581,279	103.8	102.2
	7	P12695	6381	3.3	421,387	97.5	P28.6	280,471	472,058	103.7	102.0
	8	P12689	6379	3.4	298,598	96.3	P28.5	291,156	391,352	103.9	102.2
	9	P12685	6439	3.4	P295,933	P97.3	...	274,309	338,098	103.9	102.2
10	P12689	...	...	...	...	...	...	...	...	...	P102.3
前年 同月比	H27. 5	-	0.0	* 0.0	1.2	* -2.1	1.9	4.8	1.5	0.5	0.5
	6	-	0.6	* 0.1	-3.3	* 1.1	P2.5	-2.0	1.7	0.4	0.3
	7	-	0.4	* -0.1	1.0	* -0.8	P1.4	-0.2	5.0	0.2	0.1
	8	-	0.3	* 0.1	0.4	* -1.2	P2.8	2.9	1.8	0.2	0.1
	9	-	0.6	* 0.0	P0.7	* P 1.0	-	-0.4	-1.2	0.0	-0.1

(注) P：速報値 \*：対前月  
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2015年11月～12月)

### 《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月2日	通信研修「入門1(11月)」開講(～24日)	12月1日	通信研修「入門2(12月)」開講(～21日)
17日	データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」開講(～2016年1月下旬)	〃	平成28年経済センサス・活動調査地方別事務打合せ会(7ブロック)(～18日)
〃	統計研修 統計専門課程「マイクロデータ分析(Rによる統計解析)」開講(～20日)	4日	世界統計の日2015フォーラム
〃	労働力調査等に関する地方別事務打合せ会(～12月1日)	11日	第93回統計委員会
19日	第65回全国統計大会・第36回統計シンポジウム		

### 《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月6日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年9月分速報及び平成27年7～9月期平均速報)公表	12月11日	家計調査(家計消費指数：平成27年10月分)公表
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年10月分公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年10月分確報)公表
10日	労働力調査(詳細集計)平成27年(2015年)7～9月期平均(速報)公表	中旬	平成27年科学技術研究調査結果公表
11日	個人企業経済調査(動向編)平成27年7～9月期結果(速報)公表	21日	人口推計(平成27年7月1日現在確定値及び平成27年12月1日現在概算値)公表
13日	家計調査(家計収支編：平成27年(2015年)7～9月期平均速報)公表	24日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)11月分)公表
〃	家計調査(家計消費指数：平成27年(2015年)9月分及び平成27年(2015年)7～9月期)公表	25日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)11月分(速報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年9月分確報及び平成27年7～9月期平均確報 ICT関連項目：平成27年7～9月期平均)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)11月分速報)公表
20日	人口推計(平成27年6月1日現在確定値及び平成27年11月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)11月分、東京都区部：平成27年(2015年)12月分(中旬速報値)、平成27年(2015年)平均)公表
〃	個人企業経済調査(動向編)平成27年7～9月期結果(確報)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成27年11月分(東京都区部：平成27年12月分))公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)10月分)公表	28日	サービス産業動向調査(平成27年10月分速報)公表
27日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)10月分(速報)公表	〃	サービス産業動向調査(平成27年7月分確報)公表
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)10月分速報)公表	31日	統計トピックス「申年生まれ」と「新成人」の人口 - 平成28年新年にちなんで - 公表
〃	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)10月分、東京都区部：平成27年(2015年)11月分(中旬速報値))公表	月内	平成26年全国消費実態調査(二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表
〃	小売物価統計調査(全国：平成27年10月分(東京都区部：平成27年11月分))公表		
30日	サービス産業動向調査(平成27年9月分速報)、(平成27年7～9月期速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成27年6月分確報)、(平成27年4～6月期確報)公表		
〃	平成26年経済センサス・基礎調査(確報)公表		
12月4日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年10月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年11月分公表		

**編集発行** **総務省統計局**  
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報システム課  
 統計情報企画室 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。